

巨大集落の誕生

椎木・馬見遺跡群（縄文／弥生時代編）



I 自然とともに

① 馬見山で再会

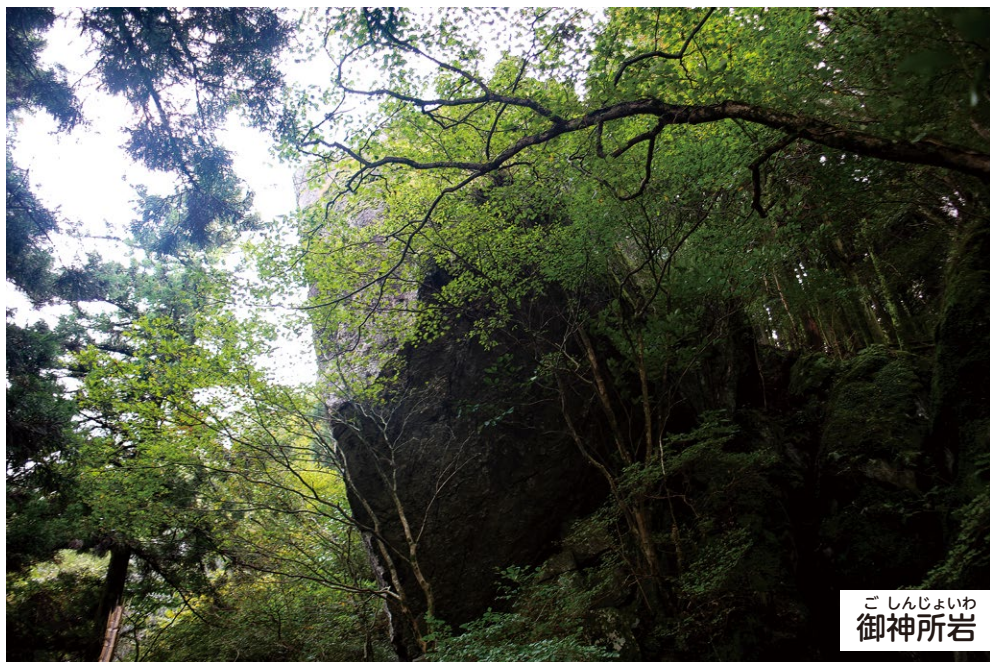
歴史が大好きなかこちゃん、お父さんと一緒に馬見山へ
登山にやってきました。

ねえ、あそこ、見て！

大きな岩があるばい！

あれは、「御神所岩」ばい。昔から、
神聖な岩としてまつられようと。
馬見山には、神さまが天から降りて
きたという言い伝えがあるんばい。





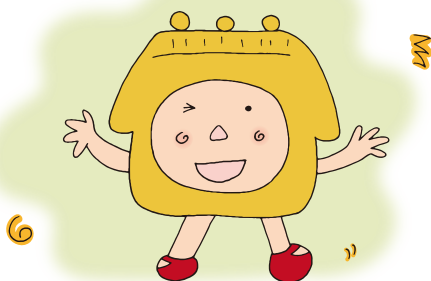
ごしんじょいわ
御神所岩

その時、かこちゃんが、^{おきでこふん}沖出古墳で拾ったあの^{ふしぎ}不思議な石がひかりはじめました。

おきまる！
どうしたん、こんなところで？



おや、かこちゃん、
^{ひさ}久しぶり！



② いせき な た 遺跡の成り立ち



うま み やま 馬見山のふもとには、こ だ い い せ き 古代の遺跡が眠っています。どうやら、
おきまるは、この い せ き 遺跡について し ら 調べるために空からこの大きな岩
に お 降りてきたようです。

 : ちょうど、い せ き た ず 遺跡を訪ねてみようと思っていたんだ。

 : 私も行きたい！

おとう さん、
ちよっと ま 待ちよって。

やれやれ・・・。



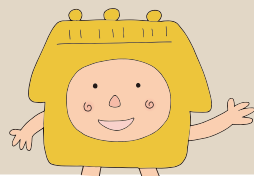


天野 優海

この遺跡は、縄文時代から弥生時代へと続く集落跡でした。集
落の人口はしだいに増えていき、弥生時代の終わりごろにはこの
辺りで一番大きな集落となっていました。

今からおよそ1900～1800年前、ここにはとても大きな集落が
造られていたんだ。集落には、身分が違う人たちが住んでいて、ま
つりごとも行われていたんだ。

じゃあ、集落ができ始めたころの様子から
みてみよう。



③ ムラのはじまり

うま み やま 馬見山のふもとに人々が^{す はじ}住み始めたのは、およそ3000年以上^{い じょう}前のことです。このころは、まだ^{ちか もり か}近くの森で狩りや木の^み実を^{さいしゅう}採集したり、川で魚を^と捕ったりして暮^くらしていました。



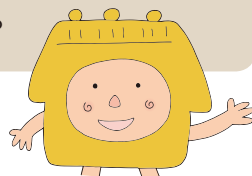
椎木本村遺跡のたて穴住居跡

コラム

「鮭神社」

い せ き ち か 遺跡の近くにある鮭を^{さけ}神さまの^{つか}使いとしてまつる^{じん じゃ}神社で、鮭が^{さけ おん が わ}遠賀川をのぼって^{ゆ ら い}くることに由来しています。神^{じん}社^{じゃ}には「海幸彦と山幸彦」の^{う み さ ち ひ こ や ま さ ち ひ こ}神話も^{し ん わ}伝わっていて、^{ゆ た}豊かな自然が神話の母体となっ^{し ぜん}ています。縄文文化とも通^{じょうもんぶん か}じると^{つう}ころがありそうですね。

これは、丸い形をした^{じょう}縄^{もん}文時代の「たて穴住居」だ^{あなじゅうきょ}よ。当時^{とう じ}の家は、^{じ め ん}地面を^ほ掘り下^{ゆ か}げて床をつくり、^{は し ら}柱を^た立て^や屋根を^ねかけていたんだ。
ま な か 真ん中には火をたくための^ろ炉もあるね。



鮭神社

自然の恵みに頼る縄文社会では、人口が大きく増えることはありませんでした。また、無事に出産できなかつたり、病気や事故で早くに亡くなつたりする子どもも少なくありませんでした。



椎木本村遺跡の土器棺墓と土器の復元

：これ、なん？ 土の中に埋められよう土器みたいやけど。

：これは亡くなった子どもを葬った土器だよ。

：わあ、かわいそうやね・・・。

：縄文時代の人たちは命がくり返すことを願って土器に埋葬していたんだ。

Ⅱ 稲作文化の定着

① 縄文土器から弥生土器へ

いちはやく大陸から北部九州の海岸沿いに伝わった稲作文化は、しばらくして馬見山のふもとにも伝わりました。稲作文化は人々の暮らしにも大きな影響をあたえていきます。

縄文土器



アミダ遺跡

弥生土器



宮ノ脇遺跡



ふだんの土器作りは、女性の役割と考えられています。土器は地域ごとに特徴があり、お母さんから子どもへと土器作りの技術が伝えられていきました。

：縄文土器と弥生土器とはどこが違うと？

：弥生時代では、収穫した米などをたくわえておくための土器などが作られるようになるんだ。

：縄文土器よりもいろいろな形があるんやね。

：弥生時代の人たちは目的にあわせて、形の違う土器を使い分けていたんだよ。

② ^{しょくもつ}食物をたくわえる



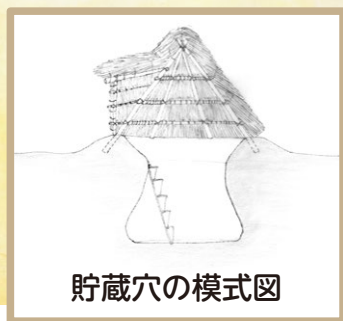
ちよぞうけつぐん
上椎遺跡の貯蔵穴群

 : わあ、^{あな}穴が^あいっぱい開いちゃうね！

 : これは、お^{こめ}米などの^{しょくもつ}食物を^{どき}土器に^い入れておく^{あな}穴で、^{げんだい}現代の^{れいぞうこ}冷蔵庫^みみたいなものだね。

 : でも、^{よしの}吉野ヶ^{がり}里に行ったときは、^{かいだん}階段で^{たてもの}上る^{建物}があったばい。

 : 「^{たかゆかしきそうこ}高床式倉庫」のことだね。^{そうこ}倉庫が^{つく}造られるようになる^{まえ}前は、^{じめん}地面^{あな}に^ほ穴を^{しょくもつ}掘って^{食物}食物をたくわえていたんだよ。



コラム 古い土器と新しい土器

土器は作られた時期によって形や作り方が違うため、遺跡の年代を決める手がかりにもなります。ここでは、「甕」の形の変化をみてみましょう。



古 → 新

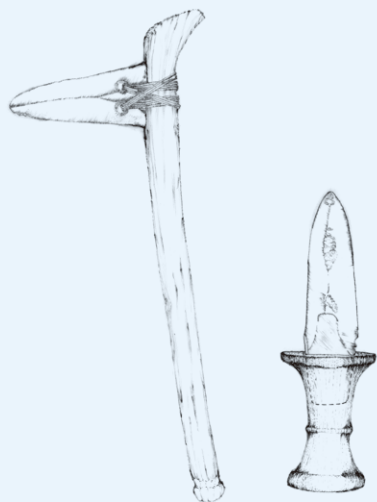
III 支配する者、される者

① 戦いの証

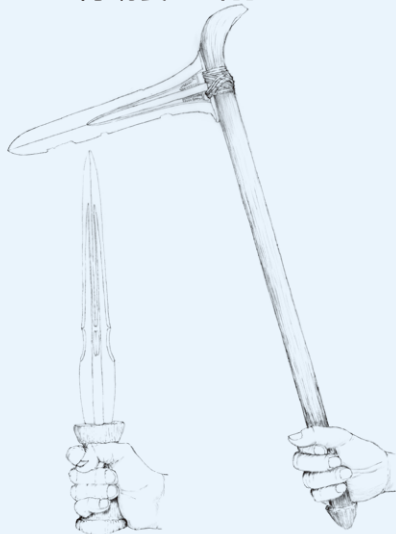


弥生時代は、土地や水などをめぐる争いがしばしば起こっていました。やがていろいろな武器が作られるようになり、武器をお墓に副葬する人々もみられるようになります。

石製の武器

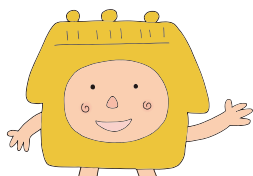


青銅製の武器



これは、折れた石の
 剣^{けん}や矢じり^{や しゅつど}が出土した
 お墓^{はか}だよ。

戦^{たたか}いで亡^なくなった人の
 お墓^{はか}かも知れないし、
 勇敢^{ゆうかん}な兵士^{へいし}の証^{あかし}として
 武器^{ぶき}を副葬^{ふくそう}したのかも
 知らないね。



原田遺跡のお墓

② 選ばれた人々

たくさんのお墓^{はか}が造^{つく}られている中に、玉^{たま}や金属製^{きんぞくせい}の武器^{ぶき}など貴重^きな品物^{ちやうしなもの}が副葬^{ふくそう}されたお墓^{はか}がみられます。これらのお墓^{はか}に埋葬^{まいそう}された人々はリーダーのような存在でした。



：これは・・・何なん？



：道をはさんで2列につくられたお墓^{はか}のようだね。

お墓^{はか}には特別^{とくべつ}に赤く塗^ぬられた土器^{どき}が供えられたものもあるよ。

青銅製の武器



鎌田原遺跡の墓群と副葬品



まがたま
ヒスイの勾玉



はか : こっちのお墓は、さっきのお墓と違って、数が少ないんやね。



ふくそうひん : そう、でも副葬品を持っているお墓がたくさんあるんだ。きっと、このムラのリーダーたちがここに葬られていたみたいだね。

IV 行き交う人・もの

① 遠くから運ばれてきたもの

この遺跡からは、遠くから運ばれてきた品物が見つかったみたいだよ。きっと、いろんな地域の人たちとの交流があったんだろうね。どんなものがあるのかみてみよう！

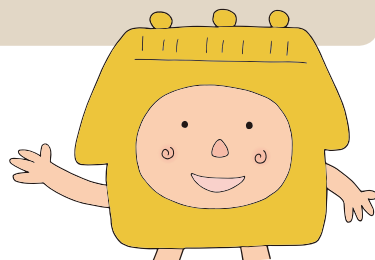


外から運ばれた土器

形や作り方がこの地域のものとは違います。土器だけが運ばれてきたのではなく、土器の中に入っていたものが運ばれてきたと考えた方がよいかも知れません。



鉄製の工具



朝鮮半島でたくさん作られている鉄製品です。工具として使われるほかに他の鉄製品を作るための素材としても用いられることがあります。

朝鮮半島に起源がある青銅製の道具（小銅鐸）です。高さ5.5cmで風鈴のように音を鳴らすことができます。この品物の生産地は須玖岡本遺跡群（春日市）が有力な候補地です。



小銅鐸



中国で作られた銅鏡

中国大陆で作られた直径10.2cm(上)と直径11cm(下)の鏡です。中国大陆ではおもに化粧道具として用いられていましたが、日本列島では、神聖なもの、權威を表すものとして、限られた人々が所有していました。

② 石器から鉄器へ

長く続いた弥生時代も終わりがちになると、石製の農具に代わって鉄製品の普及が目立つようになります。とはいえ、当時はまだまだ貴重品であった鉄製品を所有できる人々は限られていました。



タタラ遺跡の鉄鎌

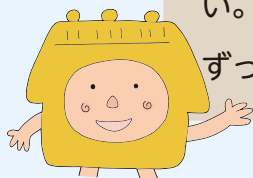
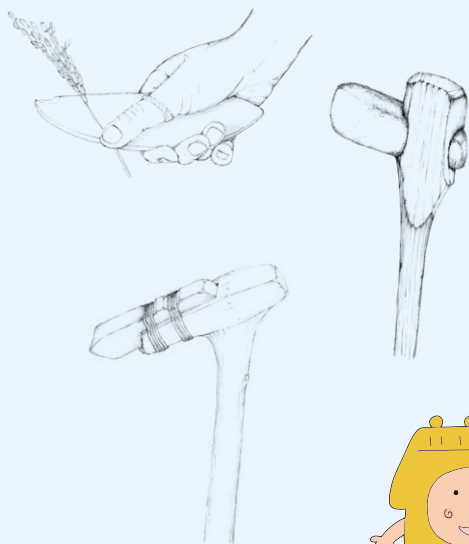


：これは・・・何なん？



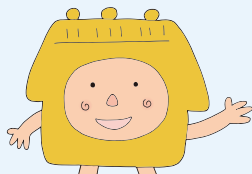
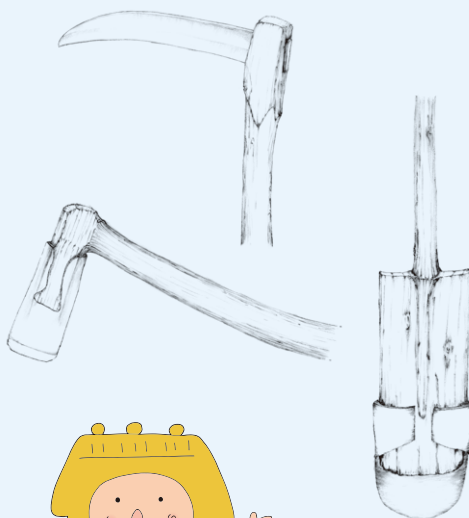
：これは、住居から出土した鉄鎌の刃先。長さが23cmもある大きなものだよ。もともとこんな風に木の柄も付いていたはず。

石製の農工具



これらの石器は稲作文
化といっしょに伝わった
ものが多いんだよ。水田
を造るためには、木を
切って土地を開拓しない
といけないし、溝を掘っ
て水も引かないといけな
い。縄文時代に比べると
ずっと大変だね。

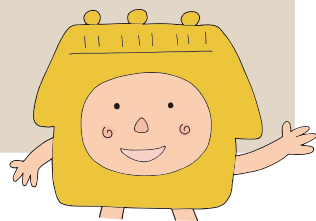
鉄製の農工具



やよい し だい げんりよう
弥生時代は、原料から
てつ ぎ じゅつ
鉄を作り出す技術はまだ
はったつ
発達していなかったから、
てつ ちようせんはんとう
鉄は朝鮮半島から手に入
れていたんだ。たくさん
てつ き く
の鉄器を作れば、暮らし
らく てつ
は楽になるから、鉄を手
に入れることは、リー
ダーのじゅうよう やくわり
重要な役割だった
はずだよ。

③ さまざまなスタイルのお墓^{はか}

遺跡^{い せき}からはたくさんのお墓^{はか}が見つかるけど、よくみると、木や石で造^{つく}られたもの、土器^{ど き}を棺^{ひつぎ}にしたものなどいろんなスタイルのお墓^{はか}があるよ。時期^{じ き}によってお墓^{はか}の種類^{しゅるい}が違^{ちが}ったりするけど、身分^{み ぶん}や出身地^{しゅっしん ち}の違^{ちが}いもあるみたいだね。



もっかん ぼ
木棺墓

「木棺墓^{もっかん ぼ}」は、木の板^{いた}を組み合わせた棺^{ひつぎ}などを用いたもので、地面^{じめん}をくり抜いた穴^ぬに遺体^{い たい}を直接埋葬^{ちよくせつまいそう}する「土壇墓^{ど こう ぼ}」と並んで、この地域^{ち い き}で多くみられるお墓^{はか}です。



もっかく ぼ
木槨墓

木棺^{もっかん}を木の板^{いた}で囲った空間^{かこ くうかん}に安置^{あん ち}するもので、中国大陸^{ちゅうごくたいりく}に起源^{き げん}があります。この遺跡^{い せき}では、弥生時代中ごろの「木槨墓^{やよい じ だい もつ かく ぼ}」が発見^{はっけん}されています。

大きな土器を棺にする
 風習は、福岡平野や筑紫
 平野を中心にみられま
 す。この地域では「甕棺
 墓群」が造られる遺跡は
 限られています。



かめかん ぼ
甕棺墓

石の板を組み合わせた
 棺を用いたお墓です。
 弥生時代の終わりごろに
 この地域で多くみられる
 お墓で、この遺跡でもた
 くさん造られています。



はこしきせっかん ぼ
箱式石棺墓

地面をくり抜いた穴に
 石の蓋をかぶせたお墓で
 す。弥生時代の終わりご
 ろにこの地域で多くみら
 れるお墓ですが、この遺
 跡ではあまり造られてい
 ません。



いしふた ところ ぼ
石蓋土墳墓

V 「魏志倭人伝」の世界



中国の古い書物には、弥生時代
 の日本列島の様子が記されている
 ものがあります。その中の一つ「魏
 志倭人伝」には、邪馬台国をはじ
 めとするたくさんの「国」の名前
 がみられます。馬見山のふもとに
 ある遺跡は、まさに女王卑弥呼の
 時代に大きな集落を造っていたこ
 とが分かっています。もし、この
 地域にも「国」があったならば、
 ひょっとするとここは「国」の都
 だったのかも知れません。





現在の椎木・馬見遺跡群



：私が^す住んじょうまちにこんな^{いせき}遺跡があったとか、^し知らなかった！



：ここには、^{こふんじだい}古墳時代や^{ならじだい}奈良時代の^{いせき}遺跡もあるんだ。

^{つぎ}次は^{しら}そっちを調べてみることにしよう！

(次巻につづく。)

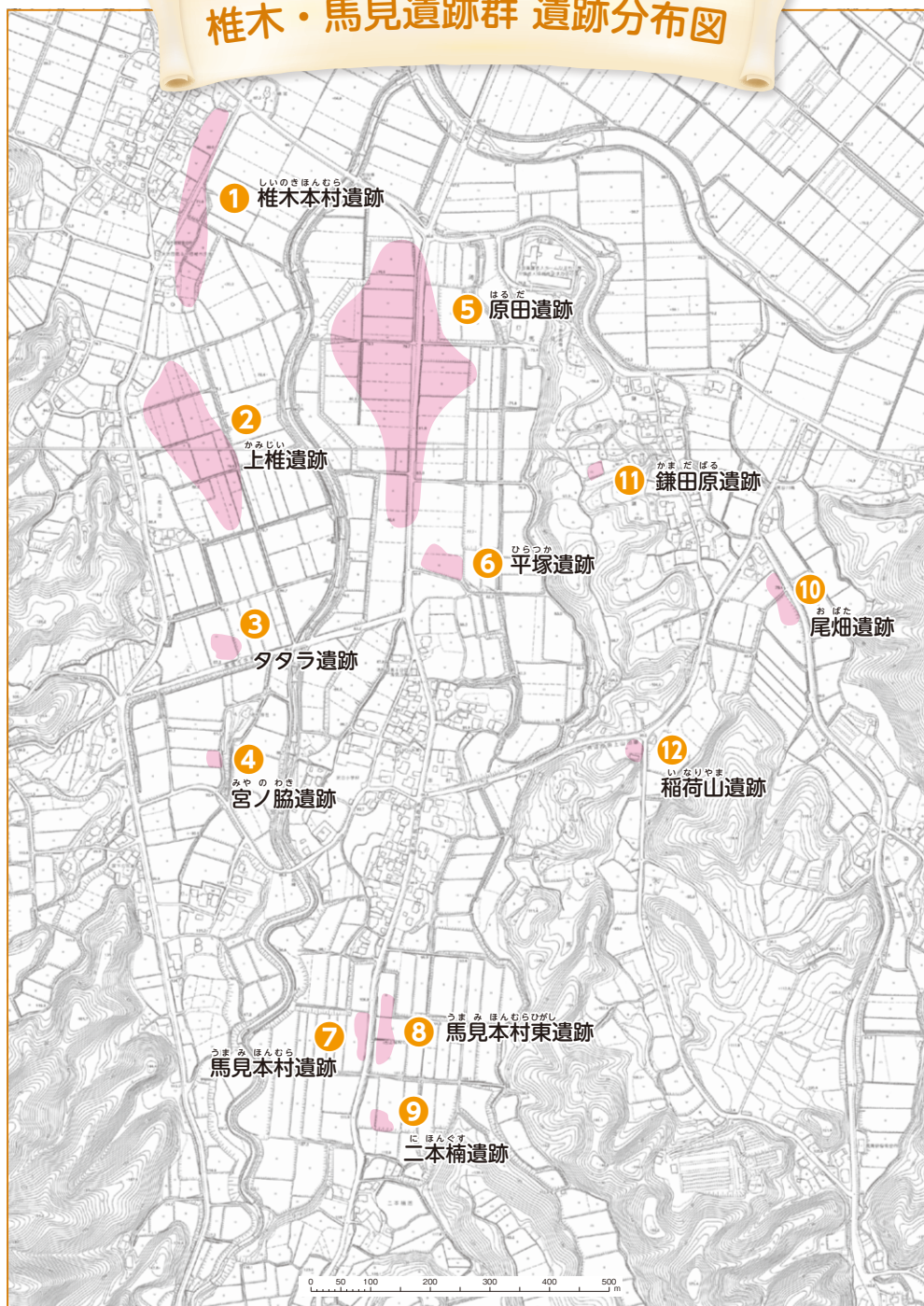
しいのき うま み い せきぐん 椎木・馬見遺跡群について

しいのき うま み い せきぐん か ま し なん ぶ うま み やま
椎木・馬見遺跡群は、嘉麻市南部の馬見山のふもと
に広がるい せきぐん とうざい なんぼく
遺跡群で、およそ、東西1 km、南北1.7kmの
はん い い せき ねむ
範囲にたくさんの遺跡が眠っています。これまでに、
い せきぐん じ だい しなもの せいかつ あと はっけん
遺跡群からはさまざまな時代の品物や生活の跡が発見
されていますが、ちゅうしん やよい じ だい こ ふん じ だい
中心となるのは弥生時代、古墳時代、
なら じ だい
奈良時代のものです。

やよい じ だい ゆうりよくしゃ ぼ ぐん はっけん ふくそうひん
弥生時代では、有力者の墓群が発見され副葬品やお
はか いち ぶ ふくおかけん していぶん か ざい こ ふん
墓の一部は福岡県の指定文化財となっています。古墳
じ だい じ もと つた はなし うら づ
時代では、地元に伝わる馬にまつわる話を裏付けるよ
うない せき はっけん
遺跡が発見されています。また、なら じ だい こう
奈良時代では公
てき し せつ そんざい おも しお はこ ど き りよくゆうとう き
的な施設の存在を思わせる塩を運んだ土器、緑釉陶器
などのとてもき ちょう しなもの はっけん
貴重な品物も発見されています。

しいのき うま み い せきぐん ちくほう こ だい し かいめい
まさに椎木・馬見遺跡群は、筑豊の古代史を解明す
るうえ じゅうよう い せき
上で、とても重要な遺跡なのです。

椎木・馬見遺跡群 遺跡分布図

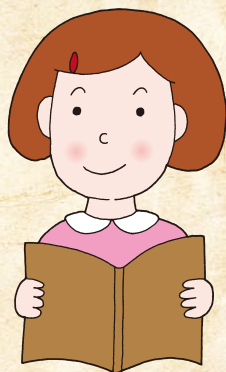


椎木・馬見遺跡群一覧

番号	遺跡名	主な時期	特徴的な遺構、遺物	掲載報告書
①	しいのきほんむら 椎木本村遺跡	縄文後期	土器棺墓	1986 第6集 嘉穂地区遺跡群Ⅲ
②	かみじい 上椎遺跡	弥生後期	住居跡 外来系土器	1982 第3集 上椎遺跡
③	タタラ遺跡	弥生後期	住居跡 貯蔵穴	1986 第6集 嘉穂地区遺跡群Ⅲ
④	みやのわき 宮ノ脇遺跡	弥生前期 奈良期	貯蔵穴 掘立柱建物	1987 第7集 嘉穂地区遺跡群Ⅳ
⑤	はるだ 原田遺跡	弥生中～ 後期	甕棺墓 木棺墓 後漢鏡 小銅鐸 鉄剣 磨製石剣	1987 第7集 嘉穂地区遺跡群Ⅳ 1988 第8集 嘉穂地区遺跡群Ⅴ 1988 第9集 嘉穂地区遺跡群Ⅵ 1997 第18集 原田・鎌田原遺跡
⑥	ひらつか 平塚遺跡	奈良期	掘立柱建物 焼塩土器 緑釉陶器	1988 第9集 嘉穂地区遺跡群Ⅵ
⑦	うまみほんむら 馬見本村遺跡	弥生中期	甕棺墓	1988 第8集 嘉穂地区遺跡群Ⅴ
⑧	うまみほんむらひがし 馬見本村東遺跡	弥生中期	貯蔵穴	1990 第11集 嘉穂地区遺跡群Ⅶ
⑨	にほんぐす 二本桶遺跡	古墳後期	古墳 鉄剣 勾玉 管玉	1990 第11集 嘉穂地区遺跡群Ⅶ
⑩	おばた 尾畑遺跡	弥生前期	貯蔵穴	1990 第11集 嘉穂地区遺跡群Ⅶ
⑪	かまだばる 鎌田原遺跡 (福岡県指定史跡)	弥生中期	甕棺墓 木槨墓 銅戈 勾玉 管玉	1997 第18集 原田・鎌田原遺跡
⑫	いなりやま 稻荷山遺跡	弥生後末～ 古墳前初期	石蓋土墳墓	2000 第19集 ケショウデ・稻荷山遺跡

あ と が き

- 本書は、嘉麻市の椎木・馬見遺跡群について学ぶことができます。
- 本書には、一部フィクションが含まれています。
- 本書は、嘉麻市生涯学習課のスタッフで作成しました。
- 本書の水彩画の挿し絵は、嘉麻市立嘉穂中学校美術部の皆さんが製作しました。
- 本書の写真は、嘉麻市教育委員会（旧嘉穂町教育委員会）が撮影しました。
- 本書は、文化庁の「地域の特色ある埋蔵文化財活用事業」にて国庫補助を受けて作成しました。



嘉麻の遺跡ブックレット Vol.2

発行 嘉麻市教育委員会
福岡県嘉麻市大隈町733番地

2019年3月25日 発行

編集 生涯学習課 印刷 マツオ印刷(株)